

ゆとりの会だより



西東京ゆとりの会（認知症の家族会）会報

2023. 3月

ゆとりの会の皆さん、こんにちは。お元気ですか？ 2月は雪の降る寒い日もありましたが、天気に変化が出てきたのも春への兆しなのでしょうか？日が長くなり夕方明るくなったのもほっとしますね。3月もまだ三寒四温と言われるように寒い日もあると思います。体調に気を付けてお過ごしください。

さて、3月は今年度最後のゆとりの会となります。昨年6月に臨時総会が開かれ、会費値上げの件と会則改定の件が可決されています。今回、会則の改定案を会報と共に送りしますので、3月の会に出席の方は必ずお持ちください。来年度に向けてのご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。それではお待ちしています。

3月のゆとりの会のお知らせ



日時 3月8日（水）午後2:00～4:00

場所 アスタ市民ホール第1（リヴィン6階、エレベーターで上がって下さい）

内容 会則改定の件、懇談、情報交換

<2月の会より>

この日は初めての試みで、始めからイスを3つのサークル状に並べ、介護の中でも在宅の会員、施設入所・入院の会員、看取りを終えた会員の3つのグループに分かれて座っていただきました。全体会の後、それぞれのグループで話し合いをして、終わりに、各グループから一人代表でお話をいただきました。

2月の会には、新しい方2名と、元会員の方1名、西東京市役所の高齢者支援課の「ゆとりの会」担当の田北さんも参加されました。

◆会長より

*今日は、会員の方の提案によりグループ分けをしました。

*会員のご家族の方が入所されている、有料老人ホーム「イリーゼ」のパンフレットが1部ありますので見たい方はご覧ください。

*会員の方より、新聞記事の紹介提供がありました。毎日新聞2月7日付け夕刊の記事「認知症の父と暮らして」ノンフィクション作家、高橋秀美さんの記事です。高橋さんは、認知症の父昭二さんを介護していました。認知症と分かったのは昭二さんの妻キヨ子さんが亡くなつてから。「幸せな介護に必要なこと」「問われる家族の絆」とは？



◆会員の方より

*第3回東京若枝教会公開医療セミナー「どうするどうなる認知症」のお知らせ
2023. 2. 26 15:30～17:00（チラシ参照）会報3、4面を見て下さい！

*65才以上の方の障害者控除対象者について

認知症等の障害によっては、確定申告をされる時、障害者控除が受けられます。（詳しくは、別紙参照してください）

◆田村より

*資料①アルツハイマー病の新薬「レカネマブ」の新聞記事の紹介。

1月8日付けの新聞記事によるとアメリカでは承認が決まり、日本では1月17日付け新聞記事で、厚生労働省に承認申請し、年内承認を目指すこと。「レカネマブ」はアルツハイマー病の原因物質とされるアミロイド β にくっついて除去するというタイプの薬。発症早期の患者約1800人が参加した試験で、1年半後に症状の進行速度が、偽薬を使った人たちに比べ、27%緩やかになるとの結果が出たとのことです。この新薬の課題は、色々あり、販売価格が米ドルで2万6500ドル（約340万円）日本では保険が効くとしても医療財政を圧迫。対象患者は早期患者の識別には、PETなどの画像診断が必要です。

*資料②1月16日付け介護保険見直しの新聞記事。今回の見直しでは、「ケアプランの有料化」と「要介護1、2の生活援助の市区町村事業への移行」は見送られました。介護保険は3年毎に見直しがありますが、高齢化に伴い介護費用は急増しており、介護保険がスタートした2000年度の3倍超の13.3兆円になってきていて、今後も増えていくので、制度維持には先送りばかりでは立ちいかなくなるのではと思います。

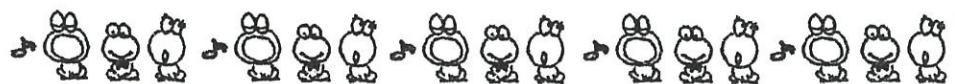
*資料③「高次脳機能障害」とは。事故や病気などが原因で脳が損傷され、話す・考える・覚える・集中することなどが難しくなり、生活に支障をきたす状態をいいます。高次脳機能障害は、「記憶障害」「地誌的障害」「遂行機能障害」など様々あります。

1月28日、ルネ小平で「高次脳機能障害におけるコミュニケーション支援」という講演があり、「失語症」のリーフレットよりの支援の仕方の紹介をしました。

*山田病院の家族介護教室。2023.1.31「栄気を養う！！」というミニ講座がこもれびホール3階音楽練習室でありました。「食べる力」の話、認知症の特徴などの話があり勉強になりましたが参加者が2名で残念でした。令和5年度1年間の予定の認知症の「家族介護教室」のチラシをもらつてきましたので、会報と一緒に送ります。（2月発行）

*「むこなみ新聞」の紹介。サロン活動のお知らせでは、向台町地域包括支援センターで行っている、認知症カフェ「オレンジカフェむこなみ」と「カフェむこなみの家」の2ヶ所あり、感染予防対策を行なながら開催されています。田無公民館では、飲食の制限が解除されたため、1月27日参加した時はコーヒーをいただきました。





◆グループからの発表より

①在宅介護中の方のグループ

介護をしている人は、ご主人様、奥様、お母様と様々な立場なので、一人一人がみんな違う。それぞれの方のことを参考にしていきたい。いつまで続くかわからないので、自分の健康を気を付けたい。みなそれぞれ悩みが複雑で色々ある。

(このグループが一番人数も多かったので、お話を一杯出たと思います。高齢者支援課の方や、今日初めて参加の看護師さんにもこのグループに入っていただき、介護者の声を聞いていただいたのは良かったと思います)

②施設入所・入院中のグループ

コロナ禍でなかなか会えない。励ましてあげられない現状。ご主人が最近入所の方は、うれしいような、寂しいような心境である。長く直接会えてない人もいる。コロナがまだ落ち着いてない。自己責任でもいいから会わせてもらえるといい。

③看取りを終えたグループ

色々な立場の看取りの人がいた。ゆとりの会に入っていて、すごく助けられた。自分は精一杯頑張ってきたが、今考えるとああしてあげたら良かったと思うこともある。胃ろうにした人が何人かいたが、あれで良かったのかどうか? いまだに迷っている。亡くなった後の片付けのことも話題になった。今は一人暮らしの人も多いので、「詐欺にかかるないようにしようね」と話し合った。

<編集後記>

2月のゆとりの会は、初めての試みで3つのグループに分かれた話し合いとなりました。一人一人のお話が聞けなかったのは残念でしたが、「良かった」という声が多くなっています。また機会があったら試みたいと思います。 (文責 田村)

★会報のお問い合わせは副会長田村まで TEL 042-458-1672

年々増加傾向にある認知症の今と対策

講師 飯塚友道先生

複十字病院認知症疾患医療センター長。
認知症専門医・脳神経内科専門医・
核医学専門医。
著書「認知症パンデミック(ちくま新書)」

Tokyo Wakaeda Church

東京若枝教会

202-0005 東京都西東京市住吉町6-14-5 Tel.042-421-1192 Fax.042-421-1150

東京若枝教会 | 検索

www.tokyo-wakaeda.com/

— 3 —

第3回 東京若枝教会公開医療セミナー

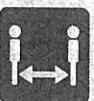
どうするどうなる認知症

講師 飯塚友道先生

複十字病院認知症疾患医療センター長。認知症専門医・脳神経内科専門医・核医学専門医。長年にわたり認知症の画像診断の研究と地域での認知症対策に携わってきた。2022年7月には著書「認知症パンデミック(ちくま新書)」を出版。2022年11月にはNHKラジオ第1「マイあさ」に認知症専門医として出演。

ご来場いただく際のお願い

新型コロナ感染症対策のため、以下の事項に関しましてご了承の上、ご来場をお願いいたします。また感染状況やイベント開催の自粛要請などの事情により、開催を中止する場合がございます。ご了承ください。



入場制限

会場(礼拝堂)内にお入りいただける人数を制限する関係上、定員になりましたら入場をお断りする場合があります。



手の消毒をお願いします

教会入り口に設置しております消毒液にて必ず手を消毒されてからお入りください。



マスク着用にて来場ください

必ずマスクを着用の上ご来場ください(お忘れの場合は教会にて常備のものをご利用ください)。



検温とご記名にご協力ください

受付にて検温とご記名をしていただきます。計測した体温が37.5度以上の場合は、入場をお断りいたします(ご記名いただきました名簿は教会にて保管させていただきます)。



換気のため、防寒対策を

プログラム中、換気のため外気が入る場合があります。防寒のため、上着などのご持参をお勧めします。

W東京若枝教会
Tokyo Wakaeda Church

202-0005 東京都西東京市住吉町6-14-5
Tel.042-421-1192 Fax.042-421-1150
<http://www.tokyo-wakaeda.com/>

東京若枝教会 |

検索

